



2023年4月27日

各 位

会社名 太平洋工業株式会社  
代表者 代表取締役社長 小川哲史  
(コード番号 7250 東証プライム・名証プレミア)  
問合せ先 経営企画部長 高橋 愛子  
(TEL 0584-93-0110)

## 中長期経営構想および中期経営計画策定ならびに「パーパス」制定のお知らせ

当社は、2030年に向けた中長期経営構想「Beyond the OCEAN」および2026年度を最終年度とする中期経営計画「NEXUS-26」を策定し、「パーパス」を制定しましたので、下記のとおり概要をお知らせいたします。なお、中長期経営構想・中期経営計画の投資家様向け説明会は5月10日(水)に開催予定です。

### <記>

#### 1. 中長期経営構想および中期経営計画の概要

VUCAと言われる先行きが見通せない厳しい環境下で、どのような環境変化でも追求すべき「パーパス」、環境変化を捉えて布石を打つ「長期戦略」、環境が想定と異なっても適応できる「レジリエンス」の3つの観点を踏まえ、長期的なあるべき姿からバックキャストする視点を取り入れ、「中長期経営構想 Beyond the OCEAN」を策定しました。また、マイルストーンとしての中長期経営計画は、2026年までの4年間を期間とし、「価値をつなぐ」「絆で結ぶ」「グループ経営」という思いをこめて「NEXUS-26」としました。

社会から信頼され、期待される企業であり続けるため、ステークホルダーの皆様との絆を深める活動に積極的に取り組み、未来に向けた価値の創造と企業経営の質の向上を実現してまいります。

### <基本戦略・注力テーマ>

**「売上と利益の共成長」**

**「多様な技術による価値創出」**

**「サステナビリティと経営の統合」**

**「パーパスを実現する人財戦略」**

長期的なトレンドと、モビリティー価値の変容のなかで、生き残っていく為に、強みを活かし、従業員が活躍して「新しい価値づくり」にチャレンジしていくための「パーパスを実現する人財戦略」が極めて重要です。そのうえで、長期的な基本戦略として、「売上と利益の共成長」「多様な技術による価値創出」「サステナビリティと経営の統合」に取り組んでまいります。

## 2. 経営目標

### 財務価値目標

資本効率を高め、持続可能な成長を実現する			
	2022年度実績	2026年度目標	2030年度目標
売上高	1,912億円	2,100億円	持続的成長
営業利益率	4.9%	7%以上	10%以上
ROE	7.0%	8%以上	10%以上

### 非財務価値目標

■事業価値目標 製品を通して、社会・顧客課題を解決する			
		2026年度目標	2030年度目標
主力事業	電動車向け売上比率 (当社試算)	50%	70%
新事業	新規商品・サービス上市件数 (2023年度から)	15件	35件

■サステナビリティ価値目標 従業員が力を発揮し、 持続可能な成長を実現する			
		2026年度目標	2030年度目標
人的資本	従業員エンゲージメント	2023年度に初回調査を実施後、 中長期目標を策定	
自然資本	CO <sub>2</sub> 排出量	30%削減	50%削減 (2019年度比 スコープ 1.2 グループ)

## 3. 「ブランドスローガン」から「パーパス」への改訂

2019年に策定したブランドスローガン「思いをこめて、あしたをつくる」が意味するのは、「多様な従業員が力を発揮し、新たな価値を創造する」ことです。これは当社の「存在意義」でもあると考え、この度、「ブランドスローガン」から「パーパス」へと改めました。

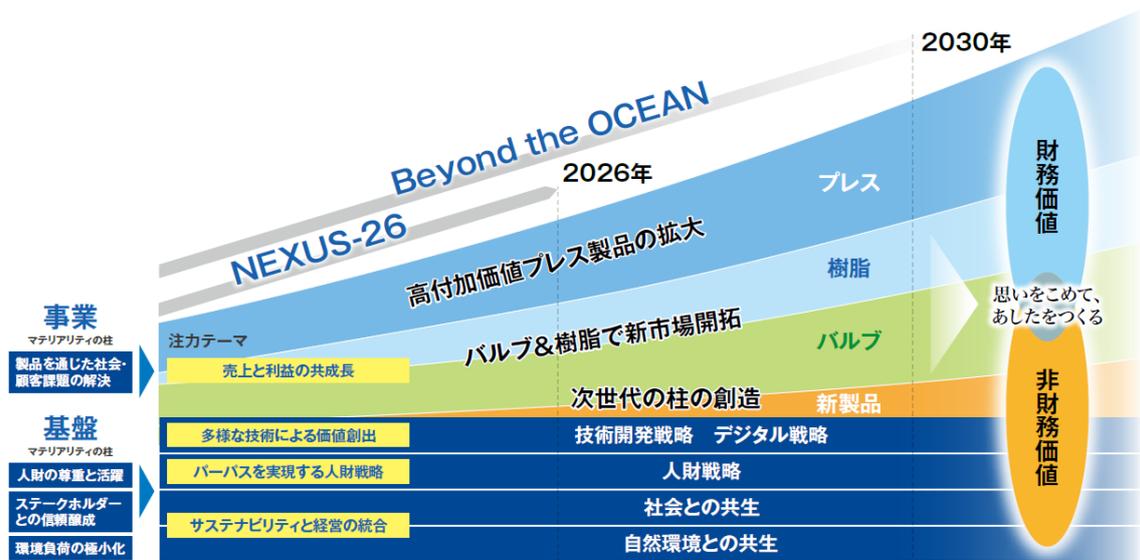
# 思いをこめて、あしたをつくる Passion in Creating Tomorrow

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績の結果は記載の予想と大幅に異なる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

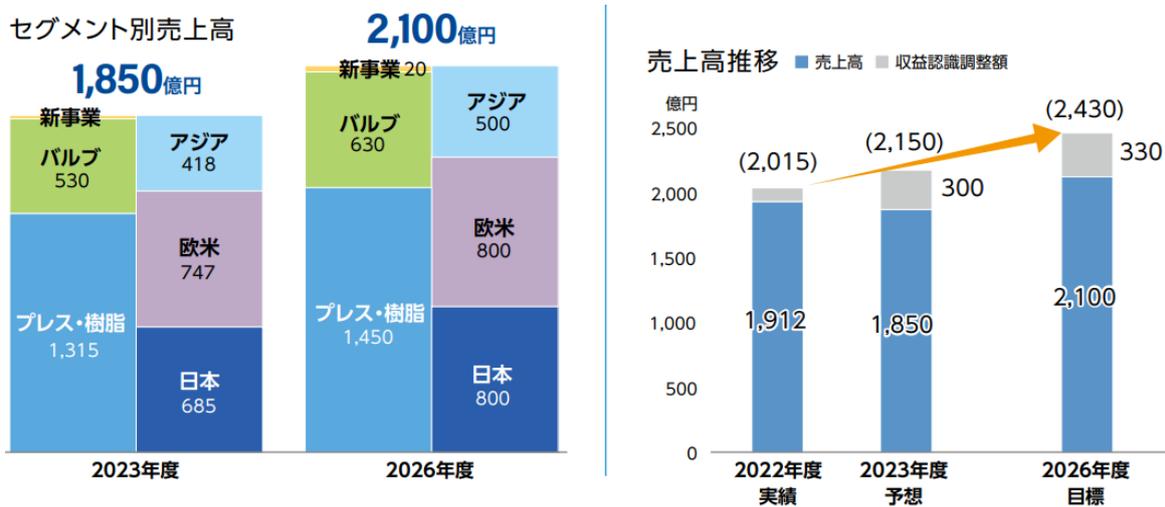
以上

<添付資料>

①中長期的な成長イメージ



②「NEXUS-26」売上目標



③パーパスに込めた思い

